

随 想

大好きな函館

新 16 小野 雅恵
2014 年 12 月寄稿

セントレア空港から出発、1 時間半で函館山と街が見えてきて、私の心はワクワク。今回は高校卒五十周年の同期会が大沼グリンピアで開催されました。久しぶりに会う友と、懐かしく楽しく夜遅くまでお喋り。次の日は友の車で出かけ紅葉の大沼を散策、小学校に登った駒ヶ岳との景色は最高でした。

又、別の日に昔の職場の友と湯の川温泉に一泊、そして函館山へ登ろうと……。私は足に自信がなかったが、「334メートルだから登れるよ」と友に励まされて行くことになった。女 3 人のお喋りも尽きなく要塞跡に着きそこで一休み。そして頂上へ……。青い海と函館の街並が一望に広がり素敵な街だなあと感動しました。

そのあと自分の足で下山、山を登ったという喜びひとしお。函館へ来たらまた絶対登ろうと思いました。そして朝市の井横丁で海鮮丼を頂き、満足の函館でした。

これから新幹線が通るのですが、函館駅はと気になっています。函館は歴史があります、湯の川温泉・美しい夜景・そしておいしい食べ物……。これからますます活気ある街にと願っております。



平凡が幸せ

新 23 佐々木 邦子
2015 年 2 月寄稿

年末ジャンボ(9,000 円分)もハズレ、年賀状のお年玉プレゼントも主人と私とを合わせて 150 枚くらいあったのに切手シート 3 枚というちょっと寂しい年の始まりでした。

でも去年 5 月に主人ががんの手術をして 38 日間の入院生活を過ごし大変な思いをしたので、今年は二人とも何事もなく無事過ごせますように、と願っています。

私は 1 週間に 4 回プールに通い、月 1 回は赤ちゃん対象の読み聞かせに図書館へ、あとは時々地区市民館の子供さんの為の読み聞かせに参加して日々運動とボランティアに頑張っています。

主人は難病を抱えているので大好きだった卓球が出来なくなり、自宅でフェイスブックをやったり、木の小物作りや写真を見て絵を描いたりしています。



ご主人作: 絵「娘と孫」
: 額縁

ご主人作: ボランティア
で使用する紙
芝居の道具



とにかく家族の誰かが病気になるとつらいです。毎日平凡で退屈を感じる日々が幸せだと思つづく思っています。

気の早い話ですが、11 月の支部総会に無事出席できることが今の私にとってのささやかな願いです。